

製品名: CBX2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81560**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、ウサギ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX2
別名	M33; CDCA6; SRXY5
遺伝子 ID	84733.0
SwissProt ID	Q14781
免疫原	大腸菌で発現したヒト CBX2 (AA: 402-525) の精製された組み換え断片。

背景

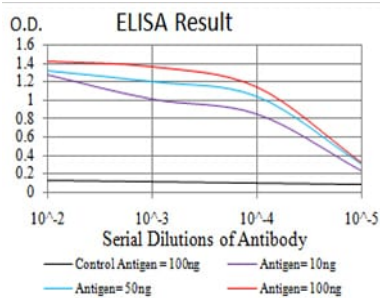
この遺伝子はポリコーム多タンパク質複合体の構成要素をコードしており、クロマチンリモデリングとヒストン修飾を介して、発生過程を通じて多くの遺伝子の転写抑制状態を維持するために必要である。マウスでこの遺伝子を破壊すると、雄から雌への性腺性転

換が起こる。この遺伝子の変異は、ヒトの性腺形成不全にも関連する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。

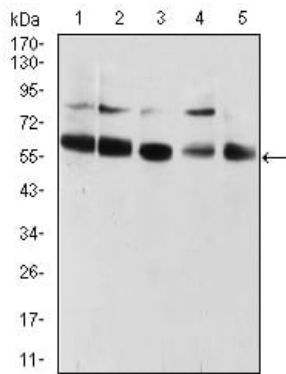
研究分野

-

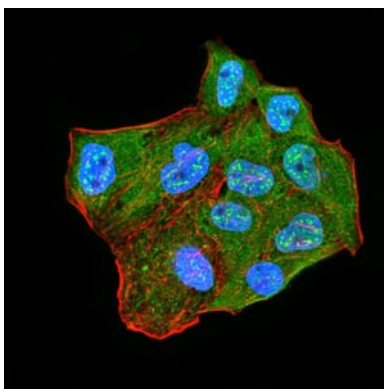
画像データ



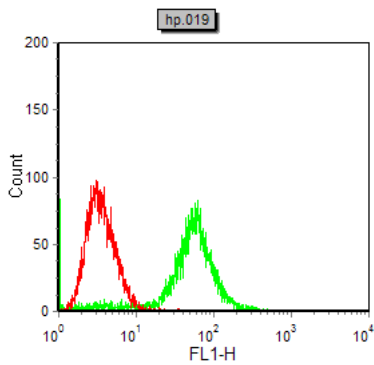
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



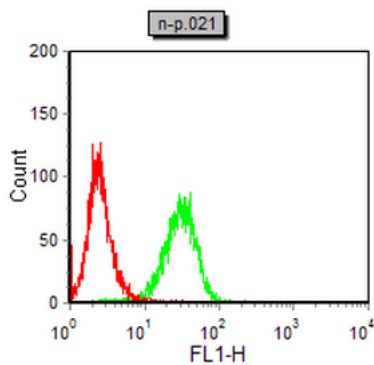
CBX2 マウス mAb を用いた HUVEC (1)、HEK293 (2)、Hela (3)、NIH/3T3 (4)、A431 (5) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



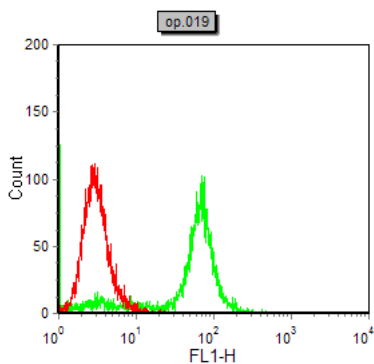
CBX2 マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



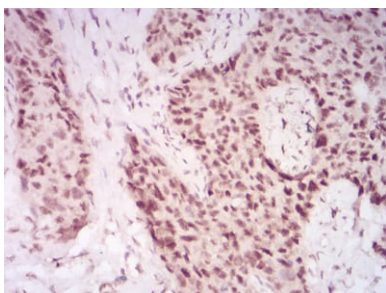
CBX2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



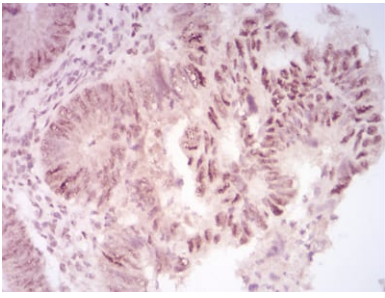
CBX2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



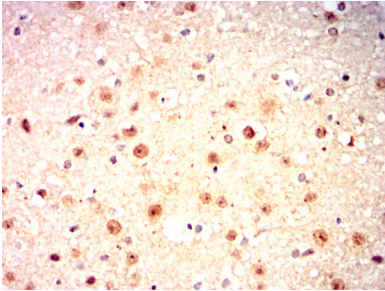
CBX2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。



CBX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



CBX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



CBX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス小脳の免疫組織化学分析。